

東京消防庁 消防署体験について

東京消防庁は消防署体験を実施し、皆さんの知らない消防署の仕事の意外な一面をお伝えします。消防署の仕事を知りたい、消防署と自分との接点を探したい、公務員に興味がある。どんな理由からでも構いませんので是非ご参加ください。

募集条件

高校生～29歳。
東京消防庁での就業経験がない方を対象とします。

主に学べること（※詳細は消防署により異なります）

詳細は特設サイトにてご確認ください。
<http://tfd-saiyo.jp/taiken/>



消防署見学

訓練施設や事務室
消防車や資器材などについて
消防署ならではの施設や装備を
見ることができます。

業務体験

訓練見学や防火衣着装など
消防署ごとに異なった業務体験を行うことが可能です。
実際の業務に触れることで、
仕事の雰囲気を感じてください。

先輩消防官の話

様々なキャリア、職種の方の話を聞くことができます。
理系の知識が活かせる、最前線で活躍している女性がいるなど、
意外な驚きがあるかもしれません。
自分の気になっていることを質問してみましょう。

過去の採用試験の状況

採用試験における試験区分や受験資格、
採用予定者数などについて説明します。
先輩消防官が、どのように試験対策をしていたか
聞くことができるチャンスです。

※東京消防庁の業務内容や採用試験、業務説明会についての情報を、東京消防庁ホームページ(採用案内)の「東京消防庁採用情報サイト」で公開しています。

人事部人事課採用係

採用フリーダイヤル：0120-119-882（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）

TEL：03-3212-2111（代表）

〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5

東京消防庁ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防庁Twitter https://twitter.com/Tokyo_Fire_D

東京消防庁Facebook <https://www.facebook.com/TokyoFireDepartment/>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。
石油系溶剤を含まない
インキを使用しています。



CHALLENGERS

— 守るために、挑み続ける —

東京消防庁
TOKYO FIRE DEPARTMENT

令和2年度東京消防庁職員募集案内



CHALLENGERS

— 守るために、挑み続ける —

グローバル化と進化を遂げる、世界有数の巨大都市「東京」
 ここに暮らす人々、働く人々、訪れる人々、
 そのすべての生命、身体及び財産を、あらゆる災害から守り抜く
 先人たちが築き上げた、首都「東京」に根付く伝統を守り抜く
 消火・救急・救助活動は言うまでもなく、
 迫り来る災害の被害を未然に防ぎ、そして最小限にとどめるため、
 常に変化する人や街の状況を捉え、最善策を考え、打ち続ける
 これらの壮大な使命を背負いながら、それに耐えうる
 自らの強靱な心身もつくり続けなければならない
 すべてが、東京消防庁の一人ひとりに求められる
 だから一人ひとりが、それに応えようと一途に、
 首都「東京」に暮らす人々、働く人々、
 訪れる人々の「当たり前の日常」と「未来」を守るため、
 今日も挑み続けていく

Contents

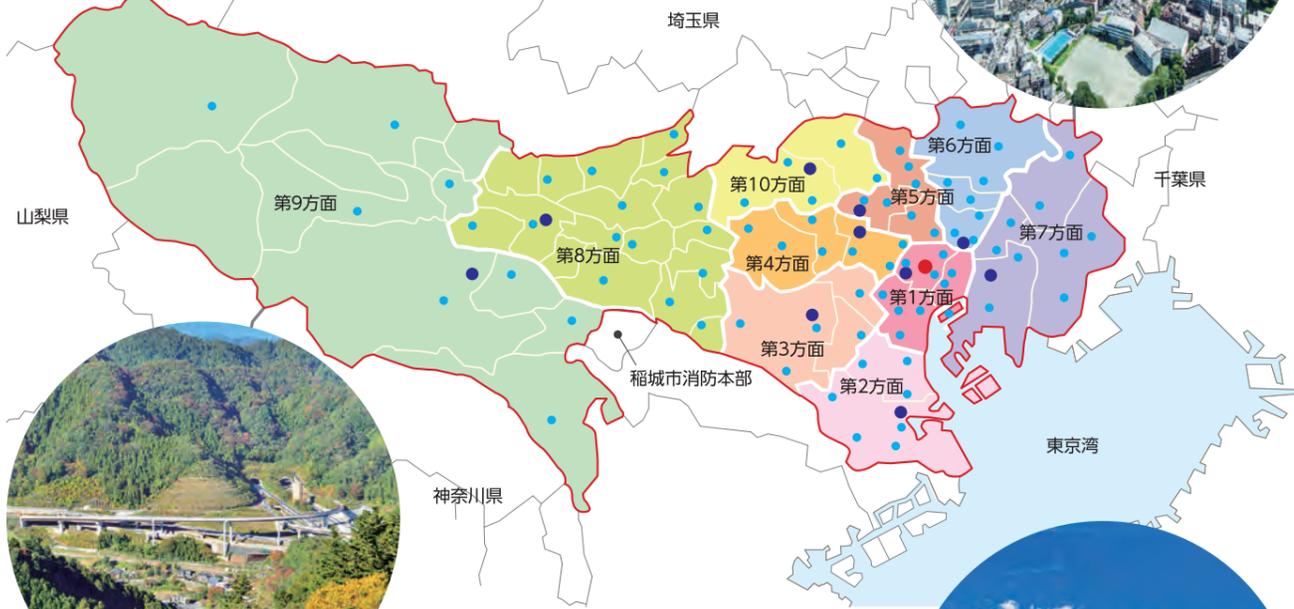
東京消防庁の組織	04
東京消防庁の主な業務	06
災害対応業務(ポンプ隊・救急隊・特別救助隊)	08
予防業務(査察係)	11
防災安全業務(防災安全係)	12
本庁業務(総合指令室)	13
広がるキャリア	14
勤務体制とON/OFF	18
キャリアモデル(特別操作機関員・救急救命士)	20
消防学校	22
研修制度・庁内専門技術の取得例	26
給与・福利厚生等	28
募集要項(消防官)	30

東京消防庁の管轄区域

- 東京消防庁本部
- 消防方面本部
- 消防署

都市部

世界有数の大都市である東京。高層マンションや商業施設がめまぐるしい勢いで建設されています。その反面、災害のリスクが高まっているのも事実。街の成長とともに、消防力の進化も求められています。



山間部

東京と一口に言っても、西側に目を向けると緑深い山々が広がり、多くの行楽客が訪れます。高尾山などの登山や多摩地域でのキャンプなど、人々の楽しいイベントでの万が一の事態に備えて、万全の体制を整えています。

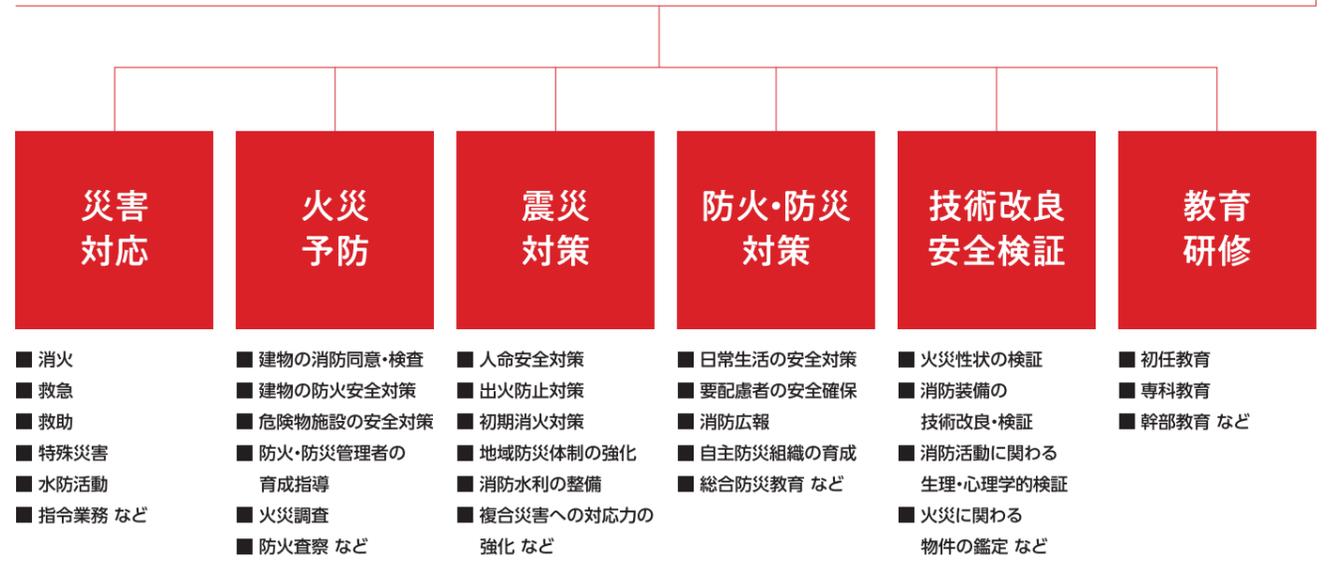


沿岸部

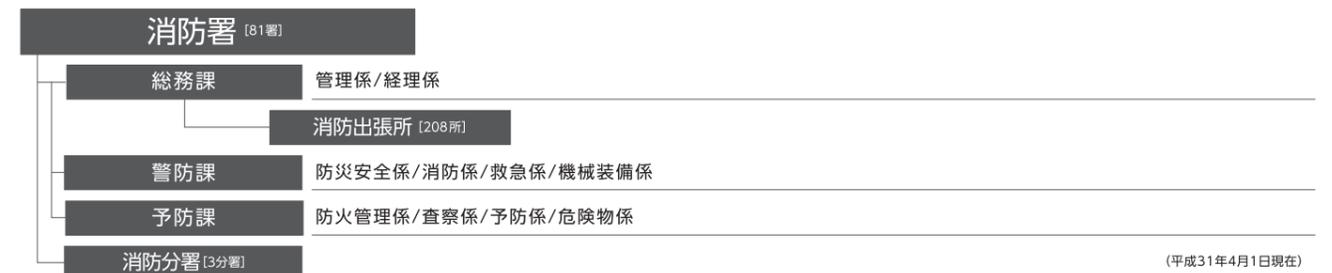
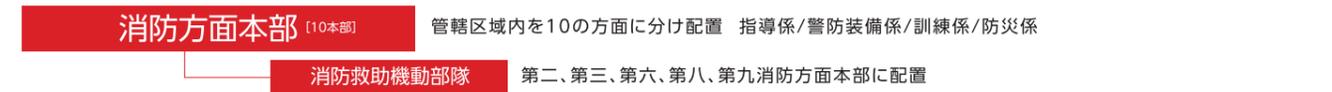
東京湾に面した沿岸部では、高層マンションやコンビナートなどが立ち並び、水難事故や火災発生リスクをはらんでいます。街中の活動とは異なり、海上という特殊な環境下でも人命救助を全うするために、東京消防庁では特別な組織や資器材を有しています。



東京消防庁の組織



組織図



(平成31年4月1日現在)

災害発生件数

令和元年中の速報値

119番等受付件数	1,575,905件
火災発生件数	4,084件
救急出場件数	825,933件
救助活動件数	24,023件

職員・拠点・車両等の数

平成31年4月1日現在

消防職員	18,620人	消防拠点	303カ所
		消防本部	1
		消防署	81
		消防出張所	208
		消防方面本部	10
		消防分署	3
消防車両等	1,995台	ポンプ車	489
		救急車	259
		救助車	29
		はしご車	86
		化学車	48
		特殊災害対策車	18
		屈折放水塔車	6
		消防活動二輪車	20
		消防艇	10
		消防ヘリコプター	7
		(ほか 運航受託機1)	等

東京消防庁の主な業務



災害対応業務

ポンプ隊
いち早く現場に駆けつけ、各隊と連携を取り消火・救助・危険排除等に当たります。救急の現場では救急隊と連携した活動も行います。



災害対応業務

特別消火中隊
複雑・多様化する災害に対応するための部隊で、消火活動能力の高い隊員で編成されています。



災害対応業務

救急隊
傷病者に適切な処置を行い、医療機関に搬送します。各隊には救急救命士が配置されています。令和元年5月より、デイトタイム救急隊が発隊しています。



災害対応業務

特別救助隊
高度な知識と専門技術、特殊な資器材を駆使し、火災や交通事故、自然災害などあらゆる災害で、救助を待つ人に手を差し伸べます。



災害対応業務

指揮隊
災害の実態や被害状況を現場で把握し、出場部隊全体を指揮します。あらゆる情報から活動方針を決定し、被害を最小限にします。



災害対応業務

はしご隊
高層階に取り残された人の救出や、高所からの放水を行います。はしごは下方向にも伸びるため、海などへ転落した人の救出もできます。



災害対応業務

舟艇隊
東京港沿岸に位置する3つの消防署に配置され、船舶を含む港湾・河川部の消火・救助活動、火災警戒などを行います。



災害対応業務

化学機動中隊
危険物や毒劇物を含むNBC等を原因とする特殊災害現場での人命救助、漏えい拡大の防止、除染等の活動を行います。



災害対応業務

山岳救助隊
多摩地区の4つの消防署に配置され、滑落等の山岳事故に対応します。車両が進入できない危険な場所では航空隊等と連携します。



災害対応業務

水難救助隊
人が溺れている、車が転落したなどの水難事故に対応します。潜水器具により、水中での救助活動を行います。



災害対応業務

消防活動二輪車
山岳事故や高速道路での火災・交通事故にいち早く対応します。状況に応じて他車両に先行して出場するため救急の技術なども求められます。



予防業務

消防同意・建物検査
消防同意制度により、建物の設計段階から防火に関する審査や指導、竣工後は検査を行い、より安全な建物づくりを推進しています。



予防業務

防火査察
建物や店舗へ立ち入り、消防用設備などの状況を検査。重大な法令違反には、警告や命令などの違反処理を行います。平成31年4月より、機動査察隊が発隊しています。



予防業務

防火・防災管理指導
事業所の防火・防災管理者の選任や、消防計画の作成などを指導しています。従業員などに対して自衛消防訓練の指導も実施します。



予防業務

危険物規制
危険物施設を設置・改修する際の許可や完成検査、危険物流出等の事故発生時の原因究明、再発防止対策など、安全確保に努めています。



予防業務

火災調査
火災原因調査、損害調査のほか、消防設備の作動・活用状況、延焼拡大の要因、避難状況などを調査して、各種消防施策に反映します。



防災安全業務

震災対策
地震発生時に身を守ることを最優先とした行動や、負傷原因となる家具類の転倒防止対策の普及に努めるなど防災指導を推進しています。



防災安全業務

地域防災
住まいの防火防災診断や住宅用防災機器等の設置促進を図っています。また日常の事故の対策指導や、防災福祉対策推進も重要な任務です。



防災安全業務

防災指導
防災行動力向上のため、消火器や起震車などを用いて、自治会や学校を中心に初期消火、身体防護、救出・救護などの指導を行っています。



防災安全業務

消防団
消防団が効果的に活動できる環境の整備、資器材の配置を行うとともに、災害に備えた活動訓練や防災訓練の指導等を実施しています。



広報業務

消防広報
広報紙やポスター、インターネットを活用して情報発信を行うとともに、都民の意見を収集し消防行政に反映しています。



企画調整部
重要事業計画の策定・進捗管理／組織整備／予算編成・決算／広報・広聴／東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の消防対策



総務部
式典・行事等の運営／文書の審査・管理／法務／国際業務／各種契約／消防庁舎の設計・工事／情報通信設備の整備・維持管理



音楽隊
日本初の消防音楽隊として創出し、「地域と奏でる防災のハーモニー」をキャッチフレーズとし、防火・防災を呼びかけ、誰もが安心して過ごせる「セーフシティ」の実現を推進しています。



カラーガーズ隊
女性職員で編成されており、東京消防出初式や各種行事等で華やかな演技を披露します。多くの都民に親しまれています。



人事部
人事管理／人事制度／委託研修／採用／表彰／勤務制度／給与／福利厚生／健康管理



警防部
消防戦術の立案／消防部隊の運用計画／災害現場指揮／消防隊員の技能管理／特殊災害の消防活動対策／災害通報の受付・出場指令／統合機動部隊の運用



防災部
都民生活の安全対策／震災対策／防災に関する調査・研究／消防水利の整備／消防団の組織整備



救急部
救急施策の立案／救急医療機関との連携／救急相談／救急資器材管理／救急隊への指導／応急手当の普及



救急機動部隊
特定の消防署に属さない、本部直轄の部隊。高度な知識と技術力を持った精鋭が集められ、昼夜で拠点を変えて活動しています。



予防部
火災予防策の立案／建物の防火安全対策／危険物施設の安全対策／防火査察／火災調査／事業所の防火・防災管理指導



装備部
消防車両・消防艇・機器等の整備／消防車両等の仕様の検討、仕様書の作成／制服・防火衣等の改良／機関員の技術指導



航空隊
8機の消防ヘリコプターを運航し、消火、救助、救急、情報収集等を行うほか、航空消防救助機動部隊を中心に国内で発生した大規模災害にも派遣されます。



装備工場
消防車両をはじめ、各種消防機械器具の性能や機能が十分に発揮できるよう点検整備を実施しています。



消防学校
教育計画の立案／教材等の作成／新規採用者の教育／職員の業務研修



消防技術安全所
都民生活の安全化／災害活動の効率化・安全化／災害実態の分析把握／火災鑑定



消防方面本部
方面内の消防署に関連する消防業務の連絡及び調整／予防業務の指導／救急業務の指導／災害活動の指揮及び指導／消防特別警戒の指揮及び指導／消防訓練の指導



消防救助機動部隊
通称ハイパーレスキューと呼ばれ、卓越した技術・能力を持つ隊員と特殊車両で編成され、通常の部隊では対応が困難な現場で活躍します。



災害対応業務

ポンプ隊

命を助きたい
その強い気持ちで
炎と煙に立ち向かう
勇気になる

消防署 特別消火中隊 平成28年入庁
関東地方出身

キャリアステップ

ポンプ隊員

特別消火中隊員



私は幼い頃に、新潟県中越地震で瓦礫に埋まった子どもを救出する姿や、東日本大震災での消防官の活躍をテレビで見て、「自分も人命救助に携わりたい」と思い続けていました。なかでも、世界最大の消防組織である東京消防庁であれば、より高度な知識・技術を身につけることができると思い志望しました。
消防学校を卒業し、ポンプ隊員として活動する中で、私はより厳しい環境に身を置いて成長したいと思い、訓練を積みながら特別消火中隊員を目指しました。特別消火中隊は、火災現場で消火活動の中心的役割を担います。初めて炎が燃え盛る火災現場を目の当たりにしたのは、「中に取り残されている人がいるかもしれない」という状況下でした。煙で視界がほとんど

なく、極度の緊張を感じましたが、「要救助者を助けない」という一心で、炎に立ち向かいました。強い心を作るには、訓練を積み重ねるしかありません。目隠しをして、何も見えない状態で要救助者を探す、音を頼りに仲間を確認するなど、特別消火中隊の訓練は難度の高いものばかりです。今も煙の中に飛び込むときは緊張しますが、煙の中でも勇気をもって活動できるのは日々の訓練の賜物です。目標である特別救助隊員への第一歩となる、特別救助技術研修の選抜試験に合格しました。子どもの頃から抱いてきた夢への切符を掴んだ今、より一層の厳しい訓練を乗り越えて特別救助隊員になるために、「命を守る」という尊い使命感を胸に、常に努力を怠らず自分の限界に挑み続け、成長していきたいと思っています。



災害対応業務

救急隊

適切な処置で
人命を救う
救急隊の責務と誇りを
感じながら働く

消防署 救急隊 平成27年入庁
近畿地方出身



キャリアステップ

ポンプ隊員

救急隊員

処置中に「ドクン、ドクン」と傷病者の心臓の鼓動が戻ったときは、これまで経験したことがない喜びを感じました。その後、その方が無事に社会復帰できたということを知り、蘇生した時と同じように嬉しかったことを覚えています。
救急隊員は傷病者本人や家族などの関係者から状況や症状を聞きながら、適切な処置を行い、医療機関に搬送することが使命になります。日々の勤務では救急に関する知識や技術を身につけるだけでなく、傷病者への接し方なども学びます。また、災害現場で厳しい現実を目の当たりにしても、冷静に判断ができるよう、心身ともに強靱であることが求められます。傷病者の症状を聞きながら、培った知識が活かせる場面が増えたように感じます。

私が救急隊員を目指したきっかけは、消防学校学生としての救急に関する授業でした。授業内容は専門的で難度の高いものでしたが、どんどん興味が湧き、もっと学びたいと思うものばかりで、救急隊員として働きたいという想いは一層強くなりました。消防署配属後はポンプ隊員として勤務する傍ら、救急標準課程研修を修了し、救急技術を取得しました。昨年からは、救急隊員として勤務し、現在私が目指しているのは、国家資格である救急救命士の資格を取得することです。救急救命士になると、傷病者に対する処置の幅が広がり、より高度な処置を行うことで、多くの命を救うことにつながります。救急救命士の資格を取得し、都民の命を守るという救急隊員の役割を果たしたいと考えています。

災害対応業務

特別救助隊

厳しい訓練で
身につけた
冷静かつ的確な行動で
人命を救う

消防署 特別救助隊 平成24年入庁
近畿地方出身

キャリアステップ

ポンプ隊員

はしご隊員

特別救助隊員

特別救助隊機関員



日本一の大都市である東京で、多くの人々を助きたい。そんな想いから東京消防庁に入庁しました。その中でも、特別救助隊は私の憧れでした。特別救助隊は、火災現場や、とくに「困難性が高い」と判断される災害現場に出場し、人命救助などを行う隊です。隊員になるには入庁後の選抜試験に合格し、技術や知識とともに「特別救助隊員としての心構え」を学ぶ厳しい研修を修了する必要があります。私は念願の特別救助隊員になることができましたが、ここから本当のスタートです。特別救助隊は華やかな部隊だと思われがちですが、災害現場の緊迫した場面では、冷静かつ的確な判断のもと、自分たちにできる限界まで活動することが求められます。そのため、訓練ではあえて自らを追い込み、過酷な状況でも冷静でいられるように日々鍛錬を重ねています。また、災害現場での活動はチームで行うため、時に厳しく熱い指導を

してくれる上司や先輩・後輩とともに、お互いの命を預けられる信頼関係を日々の訓練から築いています。私の仕事は特別救助隊機関員と云い、災害現場まで安全・確実・迅速に車両を運行することです。1秒でも早く現場に到着することが、人命救助の早さに直結するため、管轄区域内の道路に精通することも日々心掛けています。現場到着後、特別救助隊機関員は、隊の活動を確認し、隊長の指示のもと活動します。そんな役割を担う機関員に求められるのは「広い視野で現場全体を見る力」です。今までは「救助すること」しか見えていなかったのですが、機関員になってポンプ隊や救急隊などの仲間にも目を配れるようになり、現場でも要救助者への目配り・気配りが必要であることに気づきました。私の次の目標は、消防救助機動部隊です。今後ともあえて厳しい訓練を自分に課すことで経験を積み、高みを目指していきたいと思っています。

予防業務



査察係

地道な立入検査で
火災を予防し
首都東京を守る

消防署 査察係 平成26年入庁
関東地方出身



キャリアステップ

ポンプ隊員

査察係員

私は東日本大震災で活躍する消防救助機動部隊の活動に感動し、東京消防庁を目指しました。消防の仕事調べていくと、火災やその被害拡大の「予防」が多くの人命を救うことにつながる重要な業務であることを知り、予防業務に携わりたいと考えたことが、入庁の決め手になりました。現在、私が所属する予防課には、建物を検査する「査察係」、新築建物の消防設備などを審査する「予防係」、事業所の防火・防災管理者の選任や消防計画などの指導を行う「防火管理係」、危険物施設の設置許可などを行う「危険物係」、火災原因などを調べる「調査担当」があります。そして私の担当する査察係の業務は、建物やテナントを一件一件訪問して立入検査を行い、消防法に関する指導や警告などを行うことです。私が所属する消防署の管轄区域内には、多くの飲食店が軒を連ねています。ポンプ隊員として活動

していたとき、厨房天井に付着した油に引火し、ダクトを伝ってビル全体に炎や煙が充満してしまうダクト火災に出場した経験がありました。その経験もあり、立入検査時には自らが消火活動を行った現場で実際に起きた話などを交えて、万が一の危険性と予防の重要性を伝えています。査察係の使命は、建物を利用する多くの人の命や安全を守ることです。指導するだけでなく、関係者が「指摘箇所がなぜ危険なのか」に気づいていただくために、分かりやすく説明します。関係者に理解していただき、改善されていくことに、大きなやりがいを感じています。今後は「上級予防技術(査察課程)」という庁内の資格を取得できたことを土台に、さらなるスキルアップを目指して、上級予防技術のすべての課程の資格を持つ「予防分野のゼネラリスト」になることを目標として、チャレンジを続けていきたいと考えています。

防災安全業務

防災安全係

災害に備えて
地域の方々に寄り添い
自助・共助のための
防災意識を高める

消防署 防災安全係 平成24年入庁
九州地方出身



キャリアステップ

防災安全係員

総務課庶務係兼
カラーガーズ隊員

分署・警防係員

防災安全係員



大規模災害が発生した場合、行政による公助だけでは、地域の方々を守るための十分な対応ができません。自分の身を守る自助、そして地域の人々と共に助け合う共助が必要になります。私たち防災安全係は、自助・共助のための防災意識を高め、必要な知識を普及していくための活動を行っています。消防少年団の育成をはじめ、町会での防災訓練や保育園等での防災教育、公園などで行うまちかど防災訓練と、防災安全係の業務は多岐にわたります。地域の方々の声を直接聞き、そして、「ありがとう」と感謝していただける仕事に大きなやりがいを感じています。現在、力を入れて取り組んでいるのが、子育て世代の方々との接点づくりです。この年代の方は仕事などで忙しい方も多く、なかなか防災訓練に参

加していただく機会がありません。そこで、地域イベントへの防災ブースの出展や、公園などに出向くまちかど防災訓練に積極的に取り組んでいます。「防災訓練に行く機会がないから、とても良い経験になった」と感謝してくださる方も多く、こうした活動の必要性を強く感じます。今後は、防災の知識をさらに深めていくのはもちろんのこと、地域の方々に寄り添う防災のスペシャリストでありたいと考えています。災害対応時の消防官の緊迫したイメージが強いためか、消防署の職員に親しみにくさを感じている方も多いようです。消防署の職員をもっと身近に感じていただけるように、地域の方々と積極的にコミュニケーションをとっていきたく思います。

本庁業務



総合指令室

「助け」を求める声から
正確な情報を聞き出し
1秒でも早く
部隊を出場させる

警防部 総合指令室(多摩指令室) 平成20年入庁
関東地方出身



キャリアステップ

ポンプ隊員

特別消火中隊員

指揮隊員

総合指令室(多摩指令室)

災害の発生や救急搬送などの119番通報は、総合指令室へつながります。私が勤務する総合指令室は、24時間365日、都内各地から助けを求める緊急通報を受信する重要な役割を担っています。通報者の中にはパニックに陥ってしまっている方もいるため、相手が落ち着いて会話ができるように安心できる雰囲気をつくって、現場の情報を収集していきます。119番通報を受けて1秒でも早く出場指令を行い、迅速に消火・救急・救助に取りかかる状況をつくり出すために、短時間で複数の情報をまとめ、現場近くの部隊を出場させます。総合指令室には、消防部隊に指令をする担当や現場の活動報告を受ける担当など様々な役割があり、各担当がチームとなって通報から活動終了ま

で現場のサポートを行います。一連の流れの中では、自分の担当業務だけでなく、周りの状況も把握しながら進められるように、常にアンテナを張り続けています。一つでも対応を間違えると、現場に必要な情報や指示を伝えられなくなるため、細心の注意を払っています。私は総合指令室へ配属になる前は、ポンプ隊・特別消火中隊・指揮隊など、現場で災害対応の業務に就いていました。それらの経験が、現在の業務に活きており、今後は、災害現場と指令室、両方の業務を知っている消防官として、活躍したいと考えています。

 <p>多様化する災害に 対応するためには、 幅広い知識や知恵の 集結が不可欠です。</p>	<p>理系</p>  <p>建築 消防同意事務／建物検査／ 火災予防査察／ 消防庁舎の設計・ 施工監理 など</p>	<p>理系</p>  <p>電気 消防同意事務／建物検査／ 電気設備の保守管理／ 火災調査 など</p>	<p>理系</p>  <p>電子・通信 情報通信体制の整備・維持管理／ 総合情報処理システムの整備／ ICT関連業務 など</p>
<p>理系</p>  <p>化学 危険物規制／火災調査／ NBC災害対策／ 化学機動中隊員 など</p>	<p>理系</p>  <p>物理 火災性状・ 燃焼現象の検証／ 特殊災害の防除に関する 技術改良・検証 など</p>	<p>理系</p>  <p>土木 防火水槽等の設計・ 強度計算・施工管理／ 河川等による消防水利 確保方策の検討 など</p>	<p>理系</p>  <p>機械 消防用設備等に関する審査・ 技術指導／火災調査／ 消防装備・車両の改良 など</p>
<p>理系</p>  <p>自動車・航空・船舶 消防車両等の点検・整備／ 消防車両等の性能・機能・ デザイン等の検討、 仕様作成 など</p>	<p style="text-align: center;">広がるキャリア</p> <p>東京消防庁には多種多様な業務があり、 そこで活かせる知識や経験、個性もさまざま。 一見すると消防の仕事とは関係なさそうに 思えるものでも、実は強固な組織づくりに 役立っているのです。 ぜひ“あなたらしさ”を、東京の安全・安心 を守る力に変えてください。</p>		<p>理系</p>  <p>救急救命・看護 救命講習等の推進／ 患者等搬送事業に対する 指導、助言／ 救急相談センター など</p>
<p>文系</p>  <p>法律 法務／消防同意事務／ 火災予防査察／危険物規制 など</p>			<p>文系</p>  <p>行政 行政管理・運営／ 長期計画・実施計画の 立案 など</p>
<p>文系</p>  <p>環境・防災 都民生活の安全確保／ 震災対策／消防団 など</p>	<p>文系</p>  <p>教育 総合防災教育の実施／ 消防学校教官 など</p>	<p>文系</p>  <p>保健・体育 消防官のトレーニング 方法の考案／ 職員の健康維持・ 増進の施策 など</p>	
<p>文系</p>  <p>マスメディア・文学 広報業務の推進／ 各種情報の収集・発信 など</p>	<p>文系</p>  <p>商学・経済・経営 消防予算の運用／ 給与関係事務／ 契約関係事務 など</p>	<p>文系</p>  <p>音楽 消防音楽隊／ カラーガーズ隊 など</p>	<p>文系</p>  <p>福祉 地域社会の 相互扶助体制の構築／ 地域の安全対策推進 など</p>

機械工学の知識を活かし 技術や装備の向上を図る

装備部装備課 平成26年入庁 関東地方出身

都民や消防官を守る 消防装備の開発・改良に尽力

大学時代は機械工学を専攻し、主に製図や4大力学を学び、大学院では金属疲労の研究を行っていました。卒業後は船舶の設計に携わっていましたが、今まで学んできた理系の知識を活かすことで、人助けに貢献できる業務が東京消防庁にはあることを知り、入庁を決意しました。入庁後は、消防装備に関わる業務に携わりたいと考えていました。現在は特殊車製作係で、主に消防資器材の開発業務を担当しています。ホースやノズル、可搬式ウインチなどの装備品のメーカーに現行品の改良要望を伝え、新たな仕様を固める企画開発から、製作図面を用いた打ち合わせ、試作品の確認など、納品されるまでの全工程を担当しており、物作り全般に携わることができる面白さがあります。また、ポンプ装置の検査・確認時には、流体力学に基づき性能確認をするなど、専門知識を役立てることができました。今後は自分の知識を活かして、消防技術安全所の検証業務にも挑戦したいと考えています。



電気の専門知識を活かし 予防業務に貢献する

予防部予防課 平成27年入庁 中部地方出身

火気・電気設備に係る規制は火災予防行政の要 専門職として災害に強い街づくりを

以前、私の父親が倒れたときに、救急隊の世話になり「人を助ける仕事になりたい」と思ったことから、消防官を目指すようになりました。入庁後はポンプ隊員の任務に就いていたのですが、予防業務に興味を持ち、予防に関する資格を取得しました。その後、新築の建物検査などを行う予防係を2年ほど担当しました。そこでは高校時代に電子工学科で得た知識と、第二種電気工事士の資格が役立ちました。漏電が原因となる火災を防ぐ漏電火災警報器や、災害時の避難誘導に有効な誘導灯、変電設備や蓄電池設備等の電気設備の設置に伴う検査など、予防に関する重要な業務を担うことができ、大きなやりがいを感じました。現在は大規模建物の電気設備に関する届出審査や、電気設備の設置基準について業者からの相談に対応する業務等を担当しています。火気電気係として更に高度な知識を習得し、将来は火災に強く、かつ消防隊が活動しやすい建物づくり及び災害に強い街づくりに関わっていきたくと考えています。





家族の協力のもと 消防官への転職を決意

消防署 指揮隊通信担当 平成27年入庁 関東地方出身

大きなやりがいを持てる仕事で実現した
理想のワークライフバランス
次の目標であるポンプ機関員の資格も取得

私は学生時代に、ライフセービングで人命救助活動をしていましたが、大学で学んだことを活かすために卒業後は一般企業へ入社しました。数年後、大切な家族ができ、会社では責任のある仕事を任せられ大きなやりがいを感じていた一方で、大学時代に目指した「命を助ける」仕事を諦められずにいました。そこで家族の協力のもと、消防官になることを決意しました。現在は、指揮隊通信担当として現場と総合指令室をつなぐ役割を担っています。ポンプ車を運転する機関員に憧れ、研修を修了しポンプ機関員の資格も取得しました。休日は趣味であるサーフィンに行き、リフレッシュを兼ねた体力づくりをしています。また、家族の時間も大切にしており、家事や育児にも積極的に取り組んでいます。子どもが私の仕事について「カッコいい!」と言ってくれることがとても嬉しいです。目標に向けて行動することは勇気のいることでしたが、家族の協力のおかげで、消防官になるという夢が実現できました。

事務職員として都民や 東京消防庁を支えられる

消防署 経理係 平成27年入庁 関東地方出身

憧れだったカラーガーズ隊で都民と触れ合い
東京消防庁のPRに貢献

私が小さい頃、救急隊に助けられたことをきっかけに、将来は「人のためになる仕事」に就きたいと考えていました。当庁に勤務する方から事務職員の採用があることを聞き、「消防官よりも事務職員が自分に向いている」と思い、すぐに採用試験の勉強を始めました。簿記やIT関係の資格を取得しており、入庁後はその資格を活かし、消防署の経理係員として経費関連や出納、年末調整などの業務に携わっています。また、日頃の業務と併せて、様々な行事で東京消防庁のPR活動を行うカラーガーズ隊に入隊しています。人前で演技をすることは初めてのことでしたが、経験を積み、今では隊を引率するドラムメジャーとして指揮を執る役割を担っています。事務職員として都民と触れ合うことができ、大変充実した活動を行っています。今後は、東京消防庁のPRの演技だけではなく、防火防災に対する意識を高められるカラーガーズ隊を目指し、活動していきたいと考えています。



車両整備を通じて 人命救助に貢献する

装備部整備工場 平成27年入庁 関東地方出身

消防車、救急車など約2,000台
高い整備技術を磨ける環境

入庁前は、小さい頃から憧れていた自動車メーカーで整備士として働いていました。車が好きで整備士の仕事にやりがいを感じていたある時、当庁に入庁した整備士の先輩から当庁での仕事について聞く機会がありました。そこで「東京消防庁での整備業務には、消防車や救急車など、人命救助につながる使命感がある」「特殊な車両が多く、専門の整備工場で行うため、多種多様な高度な技術が身につく」ということを聞き、「自分も人命救助につながる仕事をして、さらに技術を磨きたい」と思い、入庁を決意しました。作業は常に二人一組で行い、必ずダブルチェックをすることで、作業の確実性を上げています。また、故障があった際には、細部までその原因究明を行うことで、同じことが起きないようにしています。私の現在の目標は整備技術を磨き続けることで、新しい技術に対応できるよう資格を取得し、全車両を正確に整備できるようになることです。目標に向け努力することで、上司、同僚や現場の隊員から頼られ「人命救助に貢献する」整備士になりたいと思っています。

ポンプ機関員は運転操作と 地理・水利のスペシャリスト

消防署 ポンプ機関員 平成20年入庁 関東地方出身

安全・確実・迅速に車両を運行し
消防活動の根幹を担う

ポンプ機関員は、消防車の運転・操作を担う専門職です。災害現場まで安全・確実・迅速に車両を運行し、水利の確保、放水に最も効率的な水圧の計算、吸水・送水を素早く行う、消火活動の根幹を担う重要な役割の一つです。消防署に配属後は、ポンプ隊員として活動していましたが、地理・水利に精通し、ポンプ車を自在に操る機関員の先輩の高い技術に憧れをもち、ポンプ機関員を目指すようになりました。そこからまず、消防車両の運転が可能となる普通機関員の資格を取得しました。次に災害で指揮を執る署長の機関員、現場と総合指令室をつなぐ指揮隊通信担当とキャリアを積みながら勉強に励みました。ポンプ機関技術研修の選抜試験に合格するまで何度も挑戦し、庁内の研修を経てポンプ機関員の資格を取得しました。そして次の目標は機関員の最上級職である特別操作機関員です。今以上に技術を磨き、経験を重ねることで、機関員としてのスキルを極めたいと思っています。



キャリアモデル (特別操作機関員・救急救命士)

特別操作機関員に必要な研修

消防車両を運転・操作する機関員の最上級職となるのが、特別操作機関員(はしご車等の機関員)です。

大型自動車免許取得研修

研修の委託機関において、泊まり込みで大型自動車の運転について必要な技能に関する教育を受け、卒業証明書の交付を受けます。更に、運転免許試験場において、適性検査に合格することで大型自動車免許が交付されます。(8~14日間)

ポンプ機関技術研修

緊急車両の安全運行ができ、安全確実なポンプ運用技術を身につけたポンプ機関員を養成する研修です。(14日間)

特別操作機関技術研修

大型車両の安全運行ができ、安全確実なはしご車運用技術を身につけた特別操作機関員を養成する研修です。(12日間)



特別操作機関員のキャリアモデル

選抜試験を突破し、最上級の機関資格を取得

キャリアステップ		
これまでのキャリア	平成21年 入庁 消防学校(消防士) ポンプ隊員	
	平成23年 普通機関技術認定(実技及び学科試験)	
	平成24年 大型自動車第一種免許取得	
	平成25年 ポンプ機関技術認定(消防副士長) 大型自動車第二種免許取得	
	平成26年 ポンプ機関員	
	平成27年 特別操作機関技術認定	
	平成28年 ポンプ隊長(消防士長) はしご機関員	
	今後目指すキャリア	はしご隊長
		更なる操作技術の向上
		後進の機関員の育成

はしご車を運転操作できるのは「特別操作機関員だけ」という誇り

消防署 特別操作機関員 平成21年入庁 関東地方出身

「機関員がいなければ災害現場に出場できない、責任もやりがいもある仕事」。私がポンプ隊員2年目の頃、当時の上司から聞いたその言葉に心を動かされ、「挑戦するなら大きな消防車両である、はしご車を操縦する機関員になろう」と決意しました。機関員には車や機械好きの人が多く、重機やクレーン、整備士の資格などを持っている人もいます。私も車を運転することが好きで、特別操作機関技術研修の選抜試験前には大型車両に慣れるため、大型自動車第二種免許を取得しました。はしご車の操作には、経験や運転技術だけでなく、数学や物理の知識も必要です。これらの能力に磨きをかけて、研修を修了した者のみに特別操作機関員の資格が与えられます。機関員の任務は、災害現場まで安全・確実・迅速に車両を運行し、確実な救助活動を行えるようにすることです。災害現場は物が散乱していることや、障害物があるなど混乱した状況にあります。しかし、日頃から操縦の訓練を繰り返し、感覚を研ぎ澄ましていくことで、特別操作機関員としての任務を果たすことができるのです。都民の期待に応え、また、「仲間頼り、命を預けてもらえる」。こんな経験をすると、この仕事を選んで良かったと思います。今後は、機関員として消防車両に関する知識や技術に更に磨きをかけ、一人でも多くの機関員を育成することにも尽力していきたいと考えています。

入庁後、さまざまなキャリアを自らの手で選び、専門性を磨くことができる東京消防庁。

研修や資格取得という明確な目標を持ってチャレンジすることにより、ステップアップを目指せます。

救急救命士に必要な研修

傷病者に適切な処置を行い、医療機関に搬送する救急隊。救急隊指導医の指示のもと、高度な処置を行うことができるのが救急救命士です。

キャリアステップ	
これまでのキャリア	平成16年 入庁 消防学校(消防士) ポンプ隊員
	平成18年 救急標準課程研修(救急技術認定) 普通機関技術認定 ポンプ隊員・救急隊員
	平成20年 救急機関員(消防副士長)
	平成22年 救急救命士養成課程研修(救急救命士資格取得)
	平成23年 救急救命士就業前研修
	平成25年 ポンプ隊員・救急機関員(消防士長)
	平成26年 気管挿管(病院実習)研修
	平成27年 救急隊長特別研修 救急救命士処置拡大(低血糖・ショック)特別研修(拡大2行為取得)
	平成29年 本庁毎日勤務(消防学校教養課助教)
	令和元年~ 救急隊長(消防司令補)
今後目指すキャリア	救急救命士として知識と技術の向上
	救急隊長として現場対応能力の醸成
	英会話能力の向上

救急救命士のキャリアモデル

「救急隊で活躍したい」その熱意があれば、入庁何年目でも専門分野への道は拓ける

救急標準課程研修

救急隊員として必要不可欠な救急技術の資格を取得するための研修です。出血・熱傷・創傷・骨折に対する処置、人工呼吸や気道確保等の技術を座学と実習で習得します。(36日間)

救急救命士養成課程研修

救急標準課程研修修了後、救急隊員としての指定期間の累計が5年以上、または救急活動を行った時間の累計が2000時間以上の実務経験により受験資格を取得。選抜試験を通過後、東京消防庁あるいは専門機関において、輸液・薬剤投与等、救急救命士のみが行える特定行為と呼ばれる救急処置の知識と技術を習得し、救急救命士の資格取得を目指す研修です。(7ヵ月間)

救急救命士就業前研修

救急救命士国家試験に合格した者を対象とし、救急救命士として就業する前に、医療機関での実習等を通じ現場活動能力向上を図ります。(30日間)



厳しい研修で身につけた知識・技術が自信へとつながる

消防署 救急隊長 平成16年入庁 東北地方出身

私がポンプ隊員だったとき、ポンプ隊と救急隊と一緒に活動するPA連携活動の現場に出場しました。その際に、緊迫した現場でも冷静に適切な処置を行う救急隊員の先輩の姿を目の当たりにし、憧れを抱くようになりました。そんな彼らから話を聞き、高いモチベーションを維持し続けている理由を知り、私も救急隊の一員として活躍したいと思いました。その後、「知識、技術とも一番」を目標に、救急隊が傷病者を医療機関に搬送する間にできる処置に応じた全ての資格と技術を身につけました。その後は、消防学校で救急隊員の育成及び指導を行う助教を経験しました。そこでは「消防学生及び研修生にとって救急隊員の完璧な見本であるべきだ」と自己研鑽に励み、言葉だけでなく行動でも伝える指導法と意識を磨きました。救急隊員はどんな状況下でも冷静な気持ちを保ち、迅速に処置を行い、傷病者とその家族、関係者に大きな安心感を与えられる存在でなければなりません。安心の上に成り立つ信頼関係が生まれる瞬間こそ、この仕事の一番のやりがいであると感じています。今後は、尊敬する先輩のように、優しさと傷病者を包み込むような救急隊長を目指し、成長していきます。

消防学校ってどんなところ？

消防官として活躍する上で求められる様々な技術、知識を学ぶための消防学校。すべての消防官のスタートラインとなるこの学び舎は、一体どのような場所なのでしょう。



1 訓練棟
高層ビル火災や地下火災など様々なケースの訓練想定ができる実践的訓練施設です。



2 模擬消火訓練施設(AFT)
火災や煙を発生させ、実際の火災現場と同じような状況下で訓練を行います。



3 教室
業務を行う上で必要な法令等を学びます。教室の設備などは一般的な学校と同等のイメージです。



4 救急実習室
救急車や救急資器材を実際に見て、触れて学びます。



5 CAI実習室
映像化された教材や当庁の総合情報処理システムが利用できます。



6 建築設備実習室
建築部材や模型を見ながら建物の構造などについての知識を深めます。



7 消火設備実習室
屋内消火栓やスプリンクラーなどを活用して、使用方法や仕組みを学びます。



8 体育館
体育や剣道などの授業を行います。課業終了後に自主トレーニングをすることもできます。



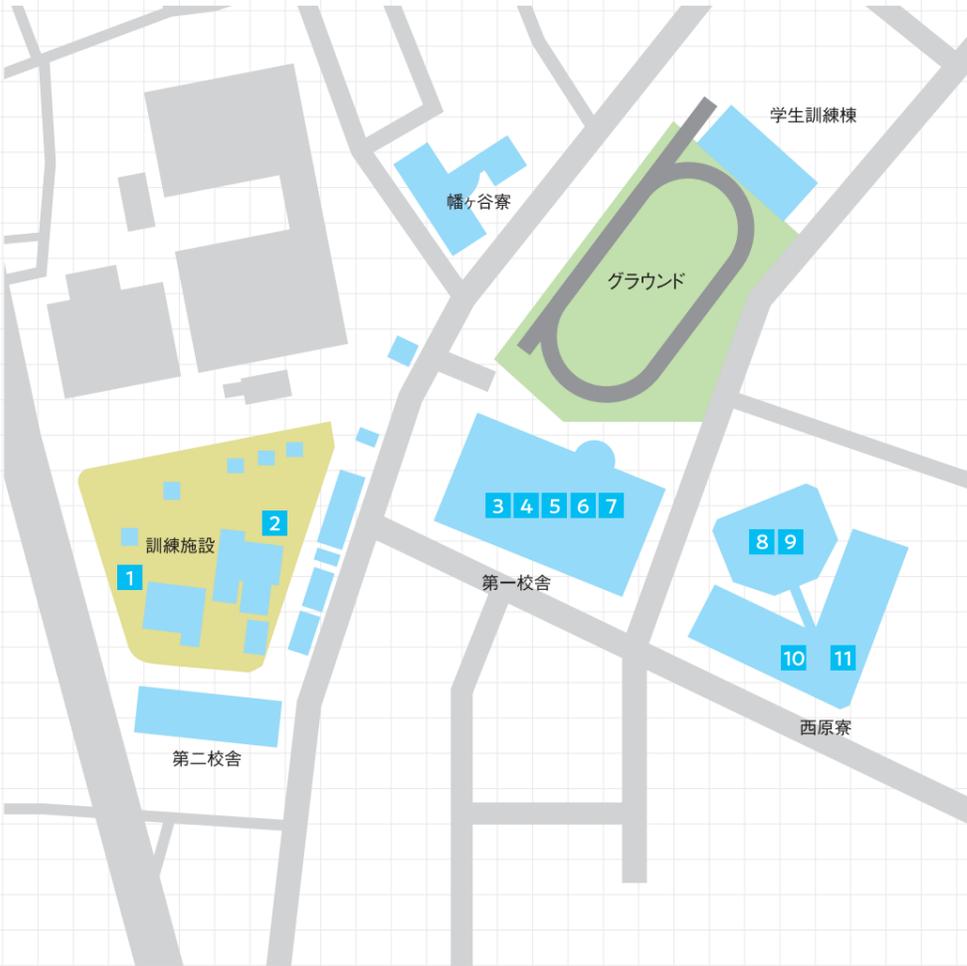
9 水難救助訓練施設
最深4.25メートルにもなる可動床式屋内プールで、水難救助の訓練や体カトレーニングを行います。



10 食堂
一度に600名が利用可能。メニューは通常2種類の日替わりから選べ、訓練の合間の楽しみのひとつになっています。



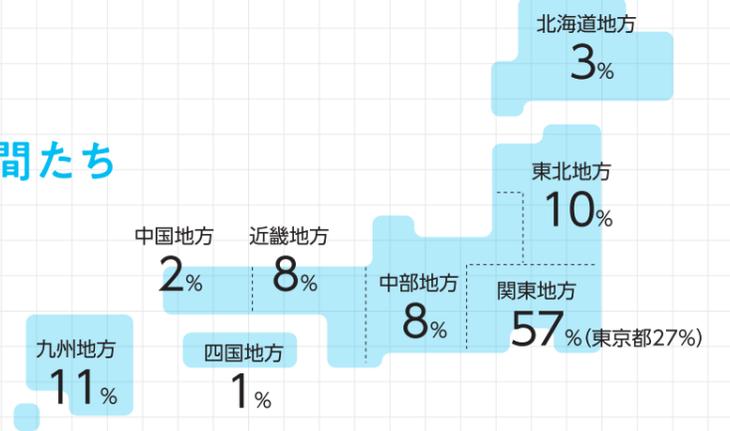
11 売店
学校生活に欠かせない文具や書籍から、日用品やお菓子、さらには東京消防庁オリジナルグッズまで品揃え豊富です。



職員の出身地割合

全国から東京へ集まった仲間たち

「より多くの人々に貢献したい」という想いを抱き、東京消防庁には全国から仲間が集っています。



「特別操作機関員」を目標に自分を高める努力を続けていきます

消防学校学生 平成31年4月入庁 関東地方出身

私が消防官を目指したきっかけは、中学生時代、熱中症で倒れた自分を救急隊が助けてくれたことです。業務には、予防や防災などの様々な業務がありますが、今の目標は機関員の最上級職となる、特別操作機関員です。はしご車の運転・操作技術を磨き、高層ビル火災などの特殊な災害で活躍したいと思っています。当然、突破すべき試験や必要な資格が多くなりますが、その分、努力のしがいがあると思っています。消防学校生活では、負けず嫌いの性格が功を奏し、訓練の中で仲間と早さや正確性を競い、1位・2位を争えるほど成長できました。また、切磋琢磨する仲間がいたことで、自分一人では絶対に到達できないレベルまで、自分を高めることができたと感じています。



学生



学生

自分より仲間を思いやる気持ちなど価値観から大きく変化しました

消防学校学生 平成31年4月入庁 九州地方出身

前職のスポーツジムで倒れたお客様を救う女性救急隊員の姿を目の当たりにしたことをきっかけに、多くの女性が活躍している東京消防庁で働きたいと思うようになりました。消防学校での半年間は、自身の価値観をも変える貴重な期間であったと思います。実科訓練では教官から「周りを見る」ことを指導され、仲間を見て自分がすべきことを判断して行動できるようになったことや、自分よりもまず仲間を思いやれるようになったことは、集団生活や訓練の成果であると感じています。男性と一緒に訓練には体力面での不安がありましたが、やり切れたことで、体力にも自信ができました。将来は傷病者に「女性の隊員に来てもらえて良かった」と思ってもらえるような救急隊員を目指したいと思っています。

集団生活を通じて学ぶ消防官の礎 半年間の成長を楽しみにしています

消防学校教官 平成16年入庁 九州地方出身

消防学校は、消防に関する知識・技術の習得はもちろんのこと、規律・協調性などの人間的側面を成長させることができる場所です。私はクラス指導や学校での決まり事・過ごし方などを主に担当しており、消防学校学生の生活指導にも携わっています。消防学校入校直後は、社会常識や生活習慣について厳しく指導されるため、集団生活に慣れていない方は1、2週間程苦労をするかもしれません。しかし、仲間と「同じ釜の飯を食う」経験が実際の小隊活動や実科訓練に活かされて、消防官を目指す人にとって重要な学びとなるのです。そして半年後には見違えるほどの体力が付き、精神的な成長は人を思いやる態度や表情、歩き方にも現れてきます。教官として、その成長した姿を見ることは、なによりの喜びになります。



教官

消防学校での一日



8時半からの授業の開始前に、毎日清掃を実施します。このような作業が良いコミュニケーションの機会になります。

毎日の厳しい訓練を乗り切るため、食堂では3食栄養バランスが良くボリュームたっぷりの食事を提供。メニューも定食から丼物までさまざま。



体カトレーニングで鍛える身体と精神力。半年間で懸垂の向上はもちろん、体力、筋力がつき、引き締まった身体づくりで自分に自信が持てるはず。



教官は授業や訓練だけでなく生活面でもサポートします。



教官 ▶

6:00 ----- 8:30 ----- 12:00 ----- 13:00 ----- 17:15 ----- 22:00 -----

起床、点呼

布団を畳んだらすぐ点呼に向かいます。校庭にクラス全員揃って整列します。

清掃、食事、授業準備

敷地内及び消防学校周囲の清掃。空き時間に体カトレーニングをする学生もいます。食事は管理栄養士が考えたメニューです。

午前始業／授業

消防官に必要な基礎知識、業務を行うための専門知識、消防官としての心構えなど、幅広く学びます。消火、救急、救助に関する様々な訓練や機器取扱い訓練を通じて、実践的な技術を身につけます。
・座学(関係法令等)・座学(消防業務等)・実科

昼食、休憩

午後始業

校内の売店には、日用品やお菓子なども取り揃えています。



校内には売店があり、参考書や文具、東京消防庁ならではの土産が買えます。

終業／自由時間

自由時間にもすることはたくさんあります。
・自主訓練・体カトレーニング・夕食、入浴
・洗濯、アイロンがけ・自習 など

点呼、就寝



生活スペースである寮は、各室定員6～7名。室内はパーティションで間仕切りし、個人のスペースを確保しています。

同期との絆が築ける集団生活。自主訓練も仲間と一緒に。



学生 ▶



授業は1クラス約40名。半年間、クラスメイトと一緒に学びます。映像授業や東京消防庁の総合情報処理システムを学ぶ実習室もあります。



学生 ▶

消防学校のカリキュラム

新たに採用された消防官は、全寮制の消防学校に入校し、消防官に求められるモラルやマナーをはじめ、消防行政に関する基礎的な知識や消防活動技術、強靱な体力・精神力を身につけるため、初任教育を受けます。

初任教育の主な教科目

消防業務の基礎を修得

座学(関係法令等)

法学基礎・消防法規、組織制度、倫理・服務 など

座学(消防業務等)

消防活動知識、防災、消防機械・ポンプ、危険物、建築・消防用設備 など

実科

消火・救急・救助活動訓練、礼式、体育、実務研修 など

初任教育の流れ 約1年間

初任基礎教育課程 約6ヵ月間

全寮制の消防学校に入校し、座学や実科の授業により、消防官としての基礎を身につけます。

初任実務教育課程 約6ヵ月間

消防署に配属され、災害現場での活動や事務処理などの実務を通じて教育を受けます。

初任総合教育課程 約1週間

課題研究発表などを行い、消防学校卒業となります。

※時期により期間が異なる場合があります。

消防学校 Q&A

Q 全寮制ですが外出や外泊はできますか？

A 基本的には金曜日・祝前日の夜から外出・外泊が可能です。同期生と出かけたり、実家に戻る学生もいます。外出・外泊する際は事前の届出が必要になります。

Q 課業後や休日はどんなことをして過ごしているのですか？

A 課業後は自由時間ですが、正服などの洗濯やアイロンがけ、靴磨きなどの身支度を行ったり、自主訓練や体カトレーニング、課業の予復習などを行います。休日は学校内で自主訓練などに励むこともあれば、買い物や食事に出かけるなどして過ごしています。

Q 消防学校は厳しいと聞きますが具体的にどのような環境ですか？

A 消防官として必要な素養を育てる最初の場です。時間や規則を守って行動することや、正服などの着こなし、髪型などについても教育を受けます。消防学校は職業訓練の場であり、給与をもらっているため訓練や座学も全力で取り組む必要があります。

Q 寮部屋や寮生活はどのような雰囲気ですか？

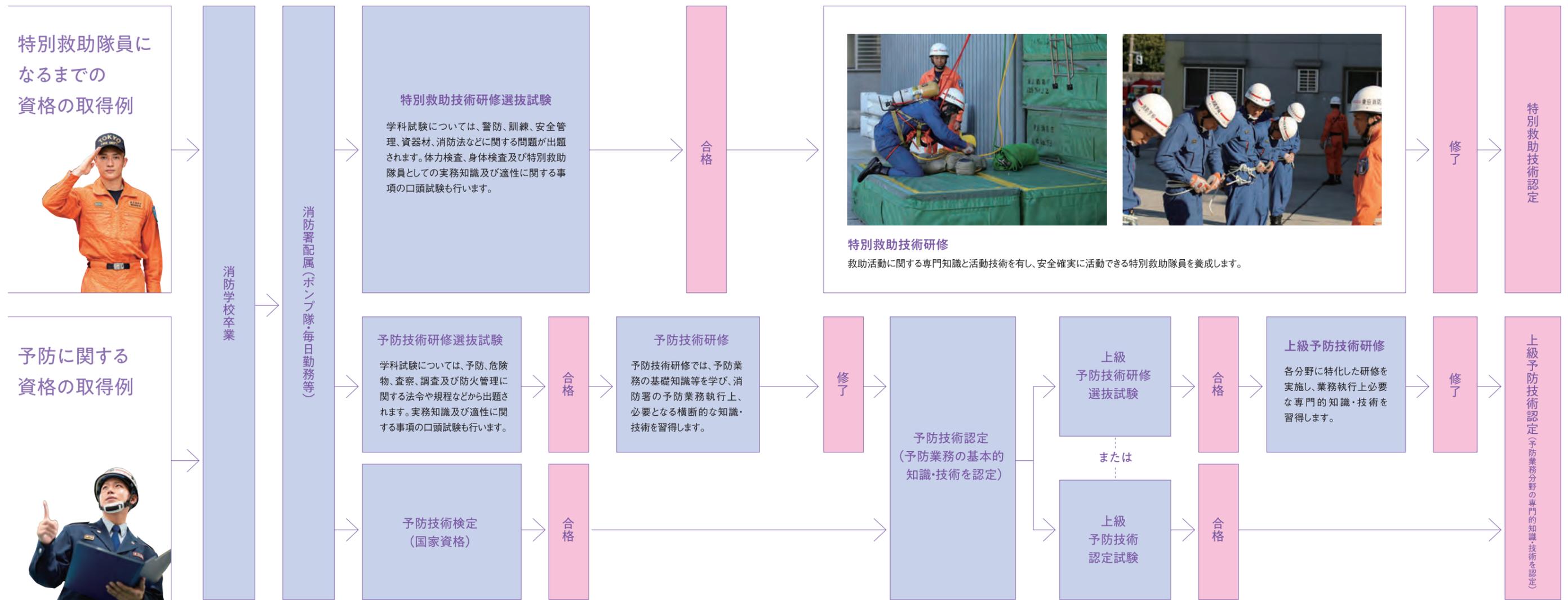
A 1つの部屋をパーティションで6～7室に分けており、個人のスペースが確保されています。課業後の寮室ではみんなで話をしたり、訓練の復習をしながらリラックスできる場です。正服などのアイロンがけではアイロンの争奪戦が始まることもあります。

Q 入庁前に取得すべき資格ややっておくべきことはありますか？

A 取得しなければならない資格はありませんが、自動車運転免許や危険物取扱者などの資格は入庁後の業務にも活かすことができます。また、入庁後の訓練に耐えられる身体づくりしておくことも必要です。

研修制度・庁内専門技術の取得例

消防の進化を支えるためには、一人ひとりがプロフェッショナルとして力を伸ばし、活躍することが期待されます。
東京消防庁には、成長をバックアップするための様々な研修制度が用意されています。



庁内研修で学ぶ

高度な専門性を要する業務に必要な知識と技術の習得を目的とした研修です。

- 特別救助技術研修 ▶ 特別救助隊員
- 水難救助技術研修 ▶ 水難救助隊員
- 化学災害技術研修 ▶ 化学機動中隊員
- ポンプ機関技術研修 ▶ ポンプ機関員
- 特別操作機関技術研修 ▶ 特別操作機関員
- 機動二輪活動技術研修 ▶ 消防活動二輪車先行員
- 救急標準課程研修 ▶ 救急隊員
- 救急救命士養成課程研修 ▶ 救急救命士
- 救急救命士処置拡大(低血糖・ショック)特別研修
- 予防技術研修 など



水難救助技術研修



特別操作機関技術研修



予防技術研修



救急救命士養成課程研修

外部研修機関で学ぶ

外部教育機関への委託研修で業務に必要な専門知識と技術を身につけます。

- 大型自動車免許取得委託研修 ▶ 大型自動車運転免許の取得
- 緊急自動車運転技能向上委託研修 ▶ 機関員の安全運転に係る知識・技術の習得
- 外国語会話技能者養成委託研修 ▶ 外国語会話の習得
- 海技従事者養成委託研修 ▶ 航海士・機関士の養成
- 航空従事者養成委託研修 ▶ 回転翼航空機操縦士・航空整備士の養成
- 支援デブリーファース養成委託研修 ▶ 惨事ストレス対応職員の養成 など

大学院や研究機関で学ぶ

消防行政に活かすことを目的に大学院研究室などで先端的な学術知識を修得します。

- 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科
- 政策研究大学院大学 政策研究科 公共政策プログラム
- 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 人間総合科学研究科
- 東京理科大学大学院 理工学研究科
- 電気通信大学大学院 情報理工学研究科
- 横浜国立大学大学院 環境情報学院
- 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- 株式会社三菱総合研究所
- 総務省 消防庁 消防学校 消防研究センター
- 大学医学部付属病院 など

給与・福利厚生等

給与

区分	給与(採用時)
専門系採用者	約261,400円
I類採用者	約253,300円
II類採用者	約232,900円
III類採用者	約214,000円

※この初任給は、令和2年1月1日現在の給料月額に地域手当を加えたものです。
 なお、採用前に給与改定があった場合はその定めるところによります。
 ※上記の他、期末・通勤手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等の制度があります。
 ※大学院修了者及び採用前に職歴を有する人は、一定の基準により加算される場合があります。

育児のための勤務制度

職員が仕事と子育ての両立ができるよう、各種制度を整えています。下記以外にも、出産支援休暇、育児時間、育児参加休暇、子どもの看護休暇などがあります。

妊娠出産休暇	妊娠中や出産を通じて16週間以内の休暇があります。
育児休業	養育のため、子どもが3歳になるまで休業することができます。
部分休業	養育のため、子どもが小学校に就学するまで勤務時間の始め又は終わりにおいて、1日につき2時間以内で休業することができます。
育児短時間勤務	仕事と養育の両立のため、子どもが小学校に就学するまで1週間あたりの勤務時間を短くすることができます。

休日・休暇

毎日勤務の場合は、勤務時間は8時30分から17時15分までで、土日が休みです。交替制勤務の場合は、勤務時間は8時30分から翌日8時40分までで、原則として4週間に8日の休みがあります。また、1年間に20日の年次有給休暇が付与され、この他にも、慶弔休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、長期勤務休暇などの休暇制度があります。

福利厚生施設等

東京都の職員として、東京都職員共済組合の施設の他、湯河原・那須にある保養施設の利用が可能です。また、結婚、疾病、家族の就学等に関する給付事業や保養施設の利用助成等、充実した福利厚生制度となっています。

悩みの相談

職員が抱える、職場内外の悩みに対しては、複数の相談窓口を用意し、悩みを早い段階で解消するためのバックアップ体制を整えています。また、悲惨な災害現場において受けた精神的ショック等に対する惨事ストレス対策も積極的に行っています。

職員待機宿舎



震災等大災害が発生した場合の初動態勢に必要な人員を確保するための単身待機宿舎は都内約80カ所にあり、消防学校修了後は原則として入居することが義務付けられています。その他、家族を有する職員が入居する家族待機宿舎は都内約160カ所に整備されています。

全職員・家族を対象としたイベント

毎年、4つの大きなイベントを開催しています。家族も含めて、すべての参加者が楽しめるように運営されています。



剣道大会

同じ消防署の職員などで構成したチームで優勝を目指す伝統ある大会です。稽古を通じ職員間の絆が深まります。近年では段位を問わない若手限定部門も創設されています。



職員・家族総合文化展

文化部会が中心となって3日間にわたり開催されています。職員だけでなく家族も作品を出品することができ、様々な分野の教養が深まります。



総合中央競技大会

体育部会が中心となって様々な競技大会が開催されます。駒沢オリンピック公園や東京辰巳国際水泳場など、本格的な競技場でスポーツ競技を目一杯楽しめる大会です。



駅伝・ロードレース大会

最も多くの職員が参加するスポーツイベントです。同じ消防署の職員同士で一本の襦をつなぐ駅伝や親子で参加することができるロードレースなどを行っています。

クラブ活動

東京消防庁には、クラブ活動を行う様々な部会があります。平日・休日を問わず、年間を通じて、多くの職員が積極的に参加し、同じ趣味の仲間と充実した日々を過ごしています。



部会一覧			
体育部会(24部会)		文化部会(17部会)	
野球	弓道	書道	版画
陸上競技	サッカー	華道	東京救助救急研究会
テニス	ボウリング	囲碁	化学災害技術研究
卓球	居合道	将棋	都市防災研究会
山岳	剣道	写真	東京予防技術研究
バレーボール	ラグビー	奇術	惨事ストレス研究
柔道	トライアスロン	麻雀	ボランティア
バスケットボール	綱引	釣魚	沖縄三線・エイサー
水泳	自転車	軽音楽	
バドミントン	ライフセービング		
スキー	バイク		
ゴルフ	サーフィン		

部会賞歴一覧
陸上部会 第30回全国消防本部対抗駅伝競争大会 優勝
バスケットボール部会 第39回全国官公庁バスケットボール選手権大会 優勝(3連覇)
水泳部会 第73回都民体育大会 夏季大会水泳競技場 一般女子の部50m バタフライ部門 優勝
サッカー部会 第48回全国自治体職員サッカー選手権 準優勝
ラグビー部会 第45回全国消防親善ラグビー大阪大会 優勝(10連覇)
将棋部会 第116回職域団体対抗将棋大会 E級 優勝

※主なものを抜粋しています。
 ※この他にも多数の体育部会・文化部会の各部会が実績を挙げています。

人事制度

消防官としての基礎的な知識・技術を身につけた後、実際の業務を通じて、自らの適性や希望に応じたキャリアを築き上げていくことができます。

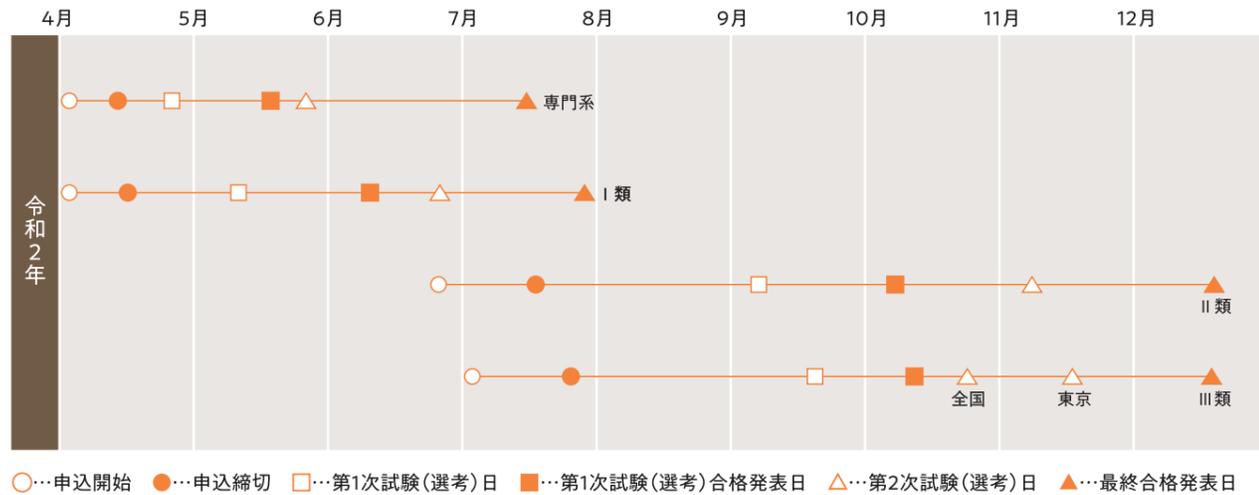
職員の階級と職務										
階級等	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	消防司監	消防総監
職務	隊員		小隊長等	中隊長等	大隊長等	副署長 課長等	署長等	消防学校長 技術安全所長 方面本部長	次長 理事 部長	消防総監
職級 (事務職員含む)	係員		副主任	主任	係長					

募集要項(消防官)

※事務職員の募集要項については、採用案内または採用ホームページをご確認ください。

令和2年度の採用スケジュール(予定)

※令和2年度の採用スケジュールは予定です。(詳細は令和2年2月下旬に公表します)
※最終合格発表後、就職に関する意向聴取を行う予定です。



受験資格等(予定)

※受験資格は予定です。(詳細は令和2年2月下旬に公表します)
※専門系には、法律、建築、電気、電子・通信、化学、物理、土木、機械の専門区分があります。

採用区分	受験資格
専門系	1991年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業している人(2021年3月卒業見込みの人を含む)又は同等の資格を有する人
I類	1991年4月2日から1999年4月1日までに生まれた人 又は1999年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業している人(2021年3月卒業見込みの人を含む)又は同等の資格を有する人
II類	1991年4月2日から2001年4月1日までに生まれた人
III類	1999年4月2日から2003年4月1日までに生まれた人

試験方法(令和元年度)

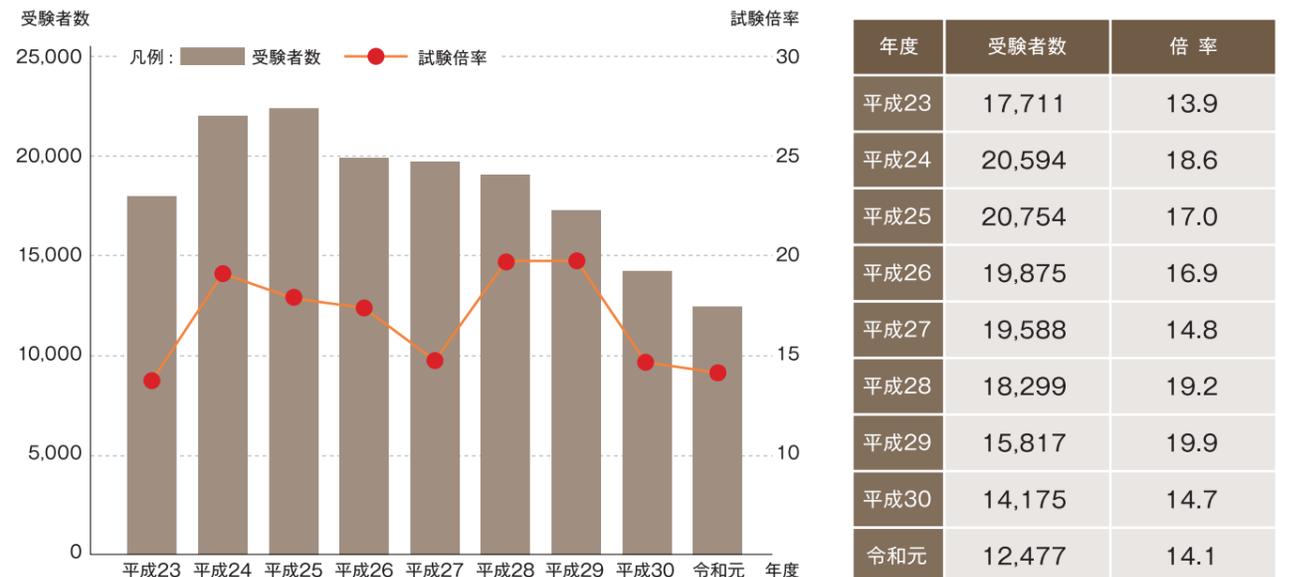
※本表は令和元年度の実施内容であり、令和2年度の試験内容は令和2年2月下旬に公表予定です。
※専門系については、下記に加え第1次選考で、各専門区分の基礎知識について記述式の筆記試験を行います。
また、第2次選考では個人面接に加え、集団討論を行います。詳細は、採用選考案内をご確認ください。

科目	内容		
第1次試験	教養試験	五肢択一式(45問出題)	2時間
	論(作)文試験	800字以上1,200字程度	1時間30分
	資格・経歴評定	保有する資格やスポーツ・音楽の経歴に応じて評定を行います。	
	適性検査	消防官としての適性について検査します。(専門系は第2次選考で実施します。)	
第2次試験	身体・体力検査	1km走、反復横とび、上体起こし、立ち幅とび、長座体前屈、握力、腕立て伏せなど	
	口述試験	個人面接を行います。	

令和元年度採用試験実施状況

試験区分	採用予定者数	第1次試験		第2次試験		倍率(A/B)	
		受験者数(A)	合格者数	受験者数	合格者数(B)		
専門系	10名	68	28	19	8	8.5	
I類	1回目	140名	3,861	1,257	1,064	441	8.8
	2回目	60名	1,287	252	214	76	16.9
II類	60名	1,538	458	401	150	10.3	
III類	130名	5,723	937	672	209	27.4	
合計	400名	12,477	2,932	2,370	884	14.1	

受験者数と試験倍率の推移



採用試験の申込み方法

※受験資格や申込受付期間などについては採用試験(選考)案内をご覧ください。
※受験申込書と各採用試験(選考)案内は、東京消防庁本部庁舎、東京消防庁管内の各消防署及び都庁案内コーナーで配布するほか、郵送でお取り寄せいただくこともできます。

インターネット(推奨)	東京消防庁ホームページの「採用案内」から「採用試験インターネット申込み」にアクセスし、画面の指示に従って入力後、送信してください。
郵送	インターネットによる申込みが行えない方は、受験申込書に記入の上、簡易書留で郵送してください。

採用について

合格者は採用候補者名簿に登録され、意向聴取、受験資格の確認等を経て、原則として令和3年4月以降、欠員に応じて採用されます。ただし、欠員の状況により、令和3年4月以前に採用される場合もあります。